

# 北部機械金属業界の景況動向

(2021年1~3月実績/同年4~6月見通し)

- ◆調査対象:綾部市以北5市2町の機械金属関係企業170社【調査集計:2021年3月末】 ◆調査実施時期:四半期ごと
- ◆回答数:133社(回答率:78.2%)※内訳は以下のとおり
  - ①市町別 福知山市:27社/舞鶴市:18社/綾部市:20社/宮津市・与謝野町:12社/京丹後市:56社
  - ②業種別 鉄鋼:4社/金属製品:28社/一般機器:56社/電気機器:18社/輸送用機器:11社/精密機器:3社/樹脂製品:8社/その他:5社
  - ※「鉄鋼」…鍛造品、鋳造品等「一般機器」…工作機械、産業機械部品等/「電気機器」…家電部品、電子部品等「輸送用機器」…自動車部品、船舶等/「精密機械」…半導体・液晶関連、精密機械部品等/「樹脂製品」…プラスチック製品・ゴム製品等
  - ③従業員数別 1~9人:38社/10~19人:30社/20~49人:33社/50~99人:17社/100人以上:15社
- ※調査票の郵送およびE-mail送信によるアンケート調査に加え、一部企業に対しヒアリングを実施
- ※業況判断DI(Diffusion Index):「非常に良い」「良い」と回答した企業の割合から「非常に悪い」「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた値

## — 調査結果 —

### ◀概況▶

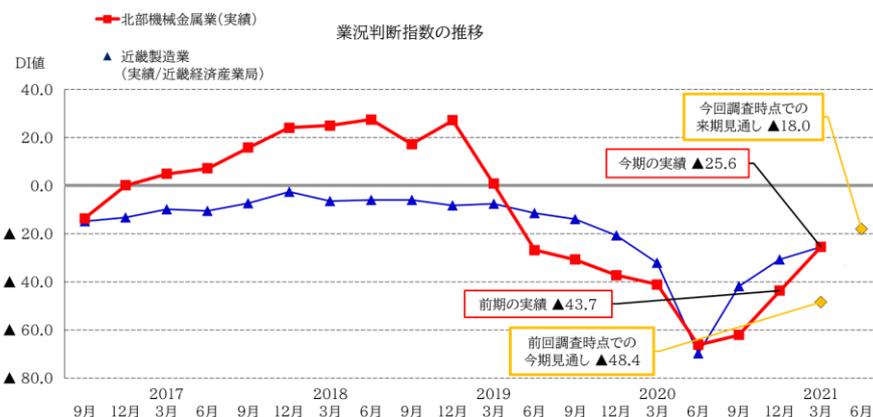
2021年1~3月期(以下「今期」)の業況判断DI(以下「DI」)は2020年10~12月期(以下「前期」)に続き、全体的に持ち直しの動きが見られたものの、採算状況は3割強の企業が「赤字」と回答した。受注量も、4割の企業が前年同期の80%以下と回答しており、依然として厳しい状態にある。また、2021年4~6月期(以下「来期」)の見通しにおいても、依然としてコロナ禍収束の不透明さを懸念する意見が見られた。

### 1. 景況動向判断

今期の実績DIは▲25.6となり、前期の実績DI▲43.7に比べ18.1ポイント増加。また、前回調査時の見通しDI▲48.4に比べても22.8ポイント増加となり、前期に続き、持ち直しの動きが見られた。

次に、来期見通しDIは▲18となり、前回調査時の見通しDI▲48.4に比べ30.4ポイント増加し、前期に続き、持ち直しの動きが見られた。

地域別の実績DIでは、舞鶴地域で足踏み状態が見られたものの、他地域は持ち直しの動きが見られ、特に宮津・与謝地域では、受注量前年同月比以上とする回答が増え、景況動向の好転が見られた。見通しDIでは、コロナ禍を懸念する意見が前期調査に比べ微減し、全ての市町において持ち直す結果となった。



京都府北部地域における業況判断DI

地域	実績DI			見通しDI		
	前々期	前期	今期	前々期	前期	今期
全体	▲62.1	▲43.7	▲25.6	▲63.6	▲48.4	▲18.0
福知山市	▲59.3	▲37.5	▲11.1	▲70.4	▲41.7	▲18.5
舞鶴市	▲52.6	▲55.0	▲55.6	▲63.2	▲40.0	▲27.8
綾部市	▲52.6	0.0	5.0	▲47.4	▲55.6	0.0
宮津・与謝	▲61.5	▲38.5	8.3	▲61.5	▲38.5	8.3
京丹後市	▲70.4	▲58.5	▲41.1	▲66.7	▲54.7	▲26.8

景況動向判断 R3.1~3月 実績 (%)



景況動向見通し R3.4~6月 (%) ※一部無回答

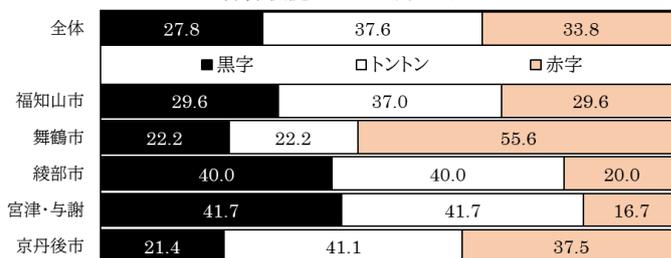


### 2. 採算状況

採算は、黒字とする企業が27.8%となり、前期21.9%に比べ5.9ポイント増加。赤字とする企業は33.8%となり、前期41.4%に比べ7.6ポイント減少した。

全ての市町において黒字の増加、赤字の減少が見られたものの、依然として3割強の企業が赤字と回答しており、前回調査と同様に厳しい採算状況が伺える結果となった。

採算状況 R3.1~3月 (%)



### 3. 受注量

今期の受注量は、前年同期比 100%以上を確保した企業が 44.4%となり、前期 27.3%に比べ 17.1 ポイント増加。

3 か月前比 100%以上を確保した企業は 54.9%となり、前期 57%に比べ 2.1 ポイント減少した。

稼働割合は、100%以上とした企業が 26.3%となり、前期 22.6%に比べ 3.7 ポイント増加したものの、依然として 7 割以上の企業が受注余力ありと回答した。

#### 【受注見通し】

来期の受注見通しについては、増加を見込む企業が 12.8%となり、前期 15.6%に比べ 2.8 ポイント減少。

減少を見込む企業も 18.8%となり、前期 21.1%に比べ 2.3 ポイント減少した。

地域別で観ても、宮津・与謝地域を筆頭に全地域で横這いとの回答が多く足踏み状態を示す結果となった。

【前年同期比】受注量 R3.1～3月 (%) ※一部無回答

地域	150以上	149～120	119～101	100	99～81	80～51	50以下
全体	3.8	9.0	9.8	21.8	12.8	36.1	5.3
福知山市	7.4	11.1	25.9	11.1	29.6	11.1	
舞鶴市	16.7	5.6	11.1	55.6	5.6		
綾部市	10.0	15.0	10.0	30.0	10.0	20.0	5.0
宮津・与謝	8.3	33.3	25.0	16.7	16.7		
京丹後市	5.4	5.4	5.4	19.6	17.9	42.9	3.6

【3ヶ月前比】受注量 R3.1～3月 (%) ※一部無回答

地域	150以上	149～120	119～101	100	99～81	80～51	50以下
全体	4.5	8.3	15.8	26.3	21.1	19.5	3.8
福知山市	3.7	3.7	22.2	33.3	7.4	22.2	3.7
舞鶴市	5.6	5.6	16.7	16.7	27.8	22.2	5.6
綾部市	5.0	20.0	15.0	25.0	10.0	25.0	
宮津・与謝	8.3	25.0	33.3	25.0	8.3		
京丹後市	5.4	7.1	10.7	25.0	28.6	17.9	5.4

稼働割合 R3.1～3月 (%) ※一部無回答

地域	101以上	100	99～81	80～51	50以下
全体	10.5	15.8	21.1	42.9	9.0
福知山市	11.1	18.5	18.5	37.0	11.1
舞鶴市	5.6	11.1	16.7	55.6	11.1
綾部市	15.0	25.0	20.0	35.0	5.0
宮津・与謝	8.3	16.7	41.7	33.3	
京丹後市	10.7	12.5	19.6	46.4	10.7

受注見通し R3.4～6月 (%) ※一部無回答

地域	増加	横這い	減少
全体	12.8	66.2	18.8
福知山市	7.4	66.7	22.2
舞鶴市	22.2	61.1	16.7
綾部市	5.0	70.0	25.0
宮津・与謝	91.7	8.3	
京丹後市	17.9	60.7	17.9

### 4. 受注条件(受注単価/納期)

受注単価が上がったとする企業は 2.3%となり、前期 1.6%に比べ 0.7 ポイント増加。下がったとする企業は 5.3%となり、前期 8.6%に比べ 3.3 ポイント減少した。約 9 割の企業は変化なしとの回答であった。

次に、納期が長くなったとする企業は 3.8%となり、前期 4.7%に比べ 0.9 ポイント減少。短くなったとする企業も 21.8%となり、前期 21.1%に比べ 0.7 ポイント増加した。前期調査と比較し変化は見られなかった。

受注単価 R3.1～3月 (%) ※一部無回答

地域	上がった	変化なし	下がった
全体	2.3	88.7	5.3

納期 R3.1～3月 (%) ※一部無回答

地域	長くなった	変化なし	短くなった
全体	3.8	71.4	21.8

資金繰り R3.1～3月 (%) ※一部無回答

地域	好転	不変	悪化
全体	0.8	78.2	18.0
福知山市		81.5	14.8
舞鶴市		83.3	16.7
綾部市		70.0	25.0
宮津・与謝	8.3	75.0	8.3
京丹後市		78.6	19.6

従業員数 R3.1～3月 (%)

地域	不足気味	適当	過剰気味
全体	27.1	48.9	24.1
福知山市	29.6	51.9	18.5
舞鶴市	44.4	22.2	33.3
綾部市	35.0	45.0	20.0
宮津・与謝	33.3	50.0	16.7
京丹後市	16.1	57.1	26.8

### 5. 資金繰り

状況が好転した企業は 0.8%となり、前期 5.5%に比べ 4.7 ポイント減少。悪化した企業も 18%となり、前期 26.6%に比べ 8.6 ポイント減少した。

全体的に好転および悪化の割合が減少し、不変とする企業が約 8 割となっており、前回調査時と比較し大きな変化は見られなかった。

### 6. 従業員数

不足気味とする企業は 27.1%となり、前期 20.3%に比べ 6.8 ポイント増加。過剰気味とする企業は 24.1%となり、前期 30.5%に比べ 6.4 ポイント減少した。

不足気味と回答する企業では、従業員の高齢化を懸念し、若手の補充を望む意見が散見された。